



花川区長へ新年度予算要望書を提出 =2022年11月18日

区民の暮らしをしっかりと支えます

日本共産党
東京都 **北区議員団**

医療費が増えて 医者にかかりづらく



医療窓口負担が2割になり、支払いが増えて医療にかかりにくくなった。(80代・年金生活者)

毎日お金がかかり 生きるのがしんどい



生きるのが辛いです。生きてるだけでお金がかかります。毎日、しんどいです。(20代・女性)

高層マンションばかり 建っているが…



最近、次々と高層マンションが建ってるが、人口が減る中、数十年後が恐ろしい。(50代・会社員)

日本共産党北区議員団が実施した区民アンケート 2022 より

議会論戦、予算組み替え提案

住民の声で 区政動かす日本共産党

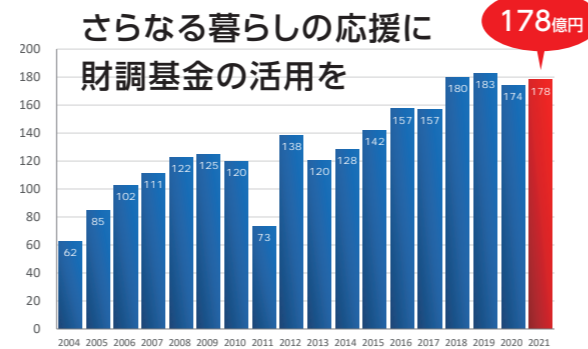
コロナ禍や物価高騰から区民の暮らしを守るため、日本共産党区議団は、毎年の北区予算案に組み替え動議を提出。昨年4月から子どもの国保料均等割が半額になるなど、さまざまな要望が実現しました(囲み参照)。民間バス路線が休止となった浮間地域では、住民とともに運動を重ね、ついにコミュニティバス新規路線に道筋をつけることができました。住民の声が区政を動かす原動力です。

- みなさんの声で実現しました
- 子どもの国保料均等割を半額に
 - 北区独自の臨時給付金を支給
 - 生理用品を学校等に無料配備
 - 公契約条例で賃金の底上げ
 - コミュニティバス新規路線

大型開発優先の まちづくりでいいの?



北区はいま、民間企業と一体に、駅前に次々とタワーマンションを誘致する開発計画を発表しています。まちが新しくなる一方で、商店街や学校、子どもの施設などへの影響も懸念されています。補助73号線(十条)、86号線(赤羽西・志茂)の道路計画に反対する住民訴訟も継続中。大型開発優先のまちづくりは見直すべきです。



コロナ禍の下でも約178億円に積み上がる北区の貯金。日本共産党は、この財政調整基金を活用して、さらに暮らし・営業の応援を提案しています。

実現めざしてがんばります

区長が 学校給食費 完全無償化 を表明

01 学校給食費は 第1子から無料に

2人目半額、3人目以降無料を実現させてきた北区で、区長が第1子からの学校給食費完全無償化を表明しました。住民運動と議会論戦を積み重ねた結果です。新年度からの確実な実施を求めています。



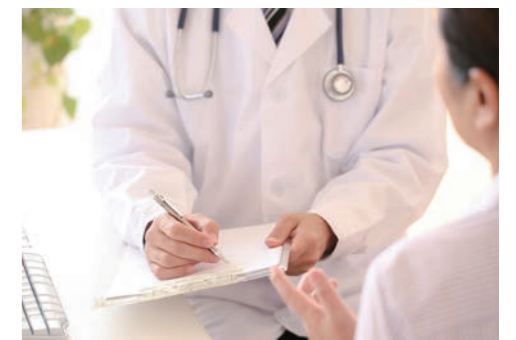
02 高齢者の補聴器補助を 一日も早く

23区中16区で実施されている補聴器補助。歳を重ね、聴こえづらくなった高齢者には切実な要望です。日本共産党の繰り返しの議会質問に、北区も「制度導入に向けた検討を進める」と答弁。一日も早い実現をめざします。



03 高すぎる国民健康保険料の引き下げを

毎年値上げが続く国民健康保険料。厳しさの増す家計の中で「払いたくても払えない」と悲鳴が上がっています。国や東京都に制度の抜本的改善を求めるとともに、北区として国保料の負担軽減を図ることを求めています。



違いクッキリ!! 住民の願いにこたえる党は?

北区議会第4回定例会に提出された 住民陳情の委員会審査結果

消費税の5%への引き下げを 求める陳情

結果は × 不採択

共産	自民	公明	立憲	都ファ
採択	不採択	不採択	継続	不採択

※立憲は最終本会議では「不採択」を表明

インボイス制度の中止を 求める陳情

結果は × 不採択

共産	自民	公明	立憲	都ファ
採択	不採択	不採択	継続	不採択

※立憲は最終本会議では「不採択」を表明

補聴器購入費用の助成を 求める陳情

結果は ▲ 継続審査

共産	自民	公明	立憲
採択	継続	継続	(欠席)

介護

- ・自己負担2割化など制度改悪にストップ
- ・介護保険料の抜本的引き下げ

教育

- ・教員不足解消へ教員の増員と働き方改革を
- ・児童・生徒数の増加に伴う教室等の整備を

住まい

- ・全世代に対応する家賃補助制度創設を
- ・都営住宅の空き住戸を新規募集へ

若者支援

- ・北区でも給付型奨学金の創設を
- ・ひきこもり、ヤングケアラーへの支援強化

防災

- ・荒川氾濫など大規模水害における高台地域の避難所確保を

産業振興

- ・中小業者や商店街への経済支援の拡充を
- ・区内共通商品券のさらなる増刷発行を

ジェンダー平等

- ・男女賃金格差の是正を北区から
- ・福祉現場で働く職員の処遇改善

気候危機打開

- ・省エネ・再エネで雇用の拡大を
- ・コミュニティバスにEV(電気自動車)導入